

スタッフコラム

自分は元々神仏に信仰心はなく、何かに困った時や助けを求める時によく神様仏様とお加護を請うたものです。時には神社にお参りに行ったり、仏壇の前に座って手を合わせたり。普段は知らない顔をしていても、ここぞとばかりに助けを求めたりするのはかなり都合のいい話ですね…。苦しい時の神頼みとはよく言ったものの、この場合は神様も仏様もご先祖様までも巻き込んで実際には自分が何をどうしたいのか、わからなくなってしまいます…。



私自身、葬祭の仕事をさせていただくようになり、神仏の勉強もさせていただきながら、色々な知識を得る事が出来ました。当然、葬儀の担当を始めさせていただくようになると、お寺さまとの関わりも増えてきます。ただ、普段は何気ない話をしていますが、お寺さまによっては通夜式の終了後に説法をされる場合があります。以前の自分だと通夜や弔問に行っても『みんな疲れているし後も色々あるのだから、このタイミングで話？』と聞く耳もたずにそう思っていました。

しかしこの仕事をやるようになって、知識を得たいという気持ちが強くなると、話に耳を傾けるようになってきました。話を聞いてみると、神仏に関わることは当然ながら、それに合わせた形で体験談を交え、遺族としてのすべき事、また当家とは関係なくても神仏を信仰する者、そうでない者としてすべき事、沢山の教えを請ける事が出来ます。難しい話、分かりやすい話など様々ですが、生きていく上での人として何たるかを聞くことが出来、新たな発見もあるでしょう。

弔問する事は、滅多にないことだと思いますが、もし機会があって説法が聞けたとしたら、しっかりと耳を傾けてみて下さい。それで何かを感じる事が出来たら、ご先祖様だけでなく、親や、周りの人に対する見方・考え方が変わるかもしれません。私自身も「誰かに助けてもらう」ではなく、「誰かを助ける」に、そして「人を助けてあげる」ではなく「させていただいている」という気持ちで行動することが少しずつ増えています。

つい先日も、担当させていただいたご当家より、『兄弟・親族・友人などと話をすると、ついつい思い出して涙が出てくるんですけど、石料さんと話す時は笑い話となってしまうから、すごく不思議な方よね!』と言われました。『人生笑っていられる方が、健康で長生きをされているから、ありがたい!』とも。知らない間に、お寺様の話が自分の身についているのかな?と嬉しく思いました。



石料重信

これからも、数ある知恵や知識を少しでも吸収し、ご遺族の方々とのご縁を持続できるようなこの仕事に携わっていきたいと思います。

あしがき

桜の蕾がほころぶ季節になってまいりました。会館に桜は植わってはいませんが、川を挟んだ向かい側の新居浜工業高校の桜は毎年見事に咲き乱れ、私たちスタッフの心を和ませてくれます。花より団子!?なスタッフもいます(笑)

桜に特別な感情を持ってしまうのは、春という新しい出会いや別れの時期に瞬く間に咲き誇り、そして儂く散っていくからなのでしょう。今年は桜を遠く眺めつつ春のあたたかさを感じようと思います。



出口秀美

洒落た絵どころ! 遊びどころ!!

以前から手ぬぐいをハンカチ、タオル代わりによく使っていました。使い始めた当初は、その柄にダジャレの意味が込められていたことなど知る由もありませんでした。和食のお店に行った時、判じ絵をモチーフにしている手ぬぐいが飾っているのを見て、もしかしてと自分が持っていた手ぬぐいや浴衣を改めて広げてみてみたら、同じように昔話の柄だったり四季折々の図柄が大胆に描かれていることに気づきました。



浴衣の中に鎌、輪、ぬ「かまわぬ」

判じ絵は江戸時代に流行った謎かけ(だじゃれ)のようなもので、現代においては絵文字・顔文字などで形を変えて残っている言葉遊びのようなものです。ルーツは平安時代までさかのぼるようです。皆さんも一度は見たことがあると思います。(右下のイラストは「どじょう」の判じ絵です)だじゃれというより脳トレですね。

動物・植物・食べ物・人物等で表現しているため文字が読めない人たちにも分かるようにお経や暦が作られていたようです。盛岡めくら般若心経・南部絵暦等々…ほぼ暗号文のようで解読するのが大変そうです。



般若心経を絵で表現した手ぬぐい

最近では多くの雑貨屋さんでしゃれた手ぬぐいが簡単に手に入るようになりました。メーカーさんも多くなりましたが私が昔から愛用している手ぬぐいは「かまわぬ」といい…と社名まで判じ絵にしているほどです。



戸に濁点で「ど」錠前で「じょう」

当社でも会員様やその家族の方に長寿のお祝いでプレゼントさせていただいているハンカチが「かまわぬ」で作っていただいているものです。(当社オリジナルのハンカチです)これを機会に江戸時代の粋な図柄に一度触れてみてはいかがでしょうか?



佐伯政俊

遺品整理の現場から

遺品は故人様の人生そのもので、歩んでこられた物語の証です。楽しかったこと、悲しかったこと、苦しく悩んだこと、共に頑張ったことなど思い出の数だけ「物」が残されます。葬儀は肉体とのお別れですが、ご遺族はここからもう一つ大役を果たさねばなりません。それは故人様と共に過ごした「物」の片付け……遺品整理です。

ご遺族がこのお役目を終え、お気持ちを整理されることで、故人様との本当のお別れが完了となります。ご遺族はここから新たな人生に向かって進んでいけるのです。遺品整理は、故人様の供養と共にご遺族のこれからの為にもとても大切な作業です。

さて、遺品整理の現場ですが、ご遺族が始められたものの途中で手がつけられなくなって途方に泣かれておられるのが現実です。大きなタンス、重たい機械、お仏壇や神棚、おひなさまや人形、処分に悩む思い出の品々、とにかく溢れ出る物、物、物。最後には残された家や土地のことまで、ご遺族にとって問題が山積みです。

さらに山のように重ねられた遺品の中には、権利書や通帳などの重要書類、お金や宝石などの貴重品、印鑑、アルバムなどが不明のまま残されていることもあり、時間をかけて慎重に検索するのです。ご遺族が見つけれなかった大切なお品をご遺族のもとに99%お届けするのが、私共の役割です。

遺品整理は単なるゴミ処分とは異なって、大きな時間とエネルギーを要する仕事です。

今、お元気の皆様!ご自分にもしもの事が起こった時、ご遺族の大きな負担の事を考えてみませんか。お元気だからこそご自分でできる物の整理を今のうちに始めませんか。生前整理です。また残された方のためにエンディングノートの活用も是非おすすめ致します。

遺品整理士 永井由紀子

お問い合わせ 資料請求
お急ぎの方は電話にて対応いたします。

フリーダイヤル
0120-44-5880
365日24時間対応しております。
【通話無料】携帯電話でもつながります。
ドリーマーご自宅出張
無料事前相談実施中!!

ドリーマーの
ご葬儀費用

◆ドリーマーではご葬儀前に必ず全額のお見積もりをお客様に提示いたします。
◆ご予算に合わない場合は、予算に合わせて内容の変更が可能です。
◆後で想定外の費用が発生する事はございません。

愛媛の便利屋 プロにおまかせください

株式会社 **よつばや**

0120-060-788
本社 〒792-0006 愛媛県新居浜市河内町5番13号